



市民懇談会ニュース

-第2回 令和6年(2024年)8月21日(水)-



越谷市では、まちづくりの指針となる「第5次越谷市総合振興計画 後期基本計画」の策定を令和6年度からの2か年をかけて行います。

この計画に多くの市民の皆さんの想いや意見を反映させるため、様々な市民参加の取り組みを行っており、そのひとつとして全4回の“市民懇談会”を開催します。

開催スケジュール



7月28日(日) 13:00~16:00

■基調講演

市民参加のデザインによる共創型まちづくり

講師 高崎経済大学地域政策学部准教授
長野 博一 氏

□懇談会

- 多様な人が交流し、参加と協働により発展するまちづくり
- みんなが健康で共創して住み続けられるまちづくり



8月21日(水) 18:00~20:30

- 都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり

- 持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり



9月19日(木) 18:00~20:30

- 魅力ある資源を活かし、都市の活力を創造するまちづくり

- みんなが主体的に学び、生きがいを持って活躍できるまちづくり



10月5日(土) 13:30~16:00

- 越谷市のめざす姿を考えよう

懇談会プログラム



イントロ 越谷市の状況

1 越谷の「いま」を考えよう

越谷市の特徴（強み・弱み）

2 越谷の「未来」の姿を描こう

未来に向けて重視したいこと
未来のためにできること

3 グループ発表

第2回市民懇談会を開催しました！

第2回懇談会は、30人の市民の皆さんが参加し、6つのグループに分かれ、越谷の「いま」と「未来」について、熱い議論が交わされました。

懇談会では、参加者の皆さんが多様な視点から見た越谷について意見を交わし、未来の越谷に向けて多くのアイデアが生まれました。

各グループの発表後、高崎経済大学 長野 博一准教授より懇談会全体の総評をいただきました。

第2回市民懇談会 参加者の声

- ✓ 越谷の「いま」について
課題や魅力などの新たな気づき
 - 越谷を愛している人が多いことに気づいた。
 - 水害について、多くの方がストレスに感じていることがわかった。
 - 防災無線が充実している。
 - もっと多世代間のコミュニケーションが必要だと思った。
- ✓ 越谷の「未来」について
将来も越谷に暮らし続けたい、関わりを持ち続けたい
 - 防災、防犯、安心、安全への取組みに期待している。
 - 子どもにとって、住みよいまちになるようにしたい。
 - 越谷には、とても魅力的でパワーのある人が住んでいると感じられた。
 - もう少し詳しく地元を歩いてみたいと思った。
 - このまちがどう変わっていくか見てみたい。

【ダイアログカード】という質問カードを使い、越谷の「いま」について、グループメンバーに質問しました。



各グループのテーマに関わる、「いま」の越谷について、感じることをフリーディスカッションしました。

みんなで意見交換したことで、これから伸ばしていきたい越谷の強みや解決したい課題が見えてきました。

見えてきた強みや課題に対して、これから創っていききたい未来の越谷の姿を描き、その実現のために必要な取り組みや具体的なアイデアをまとめました。

グループ①

テーマ：都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり

1 越谷の「いま」を考えよう

いまの越谷の特徴は？(強み・弱み)

<まちの状態についてYes/Noと主な理由>

① 暮らしやすさ

買い物、通学や通院など
日常生活に便利なまちだと思う

9-1 YES

- ▶ 交通が整っており、通学・通勤しやすい
- ▶ 市とイオンで暑さ対策の協定をおこなっている

① 暮らしやすさ

地震や大雨などの災害に備えた訓練や
備蓄をしている人が多いと思う

10-2 YES

- ▶ 自治会等で防災訓練を定期的に行っている
- ▶ 自治会でも防災倉庫に備蓄をしている

⑤ 地域資源の豊かさ

優れたまちなみや景観、自然環境に
恵まれているまちだと思う

14-1 NO

- ▶ 公園などの草が伸びている
- ▶ 原生林や自然保護区がない
- ▶ 越谷は自然に恵まれているが、あまり知られていない

① 暮らしやすさ

バリアフリーの観点から
使いやすい施設が整っていると思う

9-2 YES

- ▶ 道路等のバリアフリーが少しずつ改良されている

① 暮らしやすさ

生活環境（水・空気・土壌・騒音）
について安全で快適だと思う

10-5 YES

- ▶ 越谷は災害が少なく住みやすいまちだと言われることが多い
- ▶ 洪水が以前より減ったと感じる

① 暮らしやすさ

高齢者や障がい者にとっても
暮らしやすいまちだと思う

9-3 NO

- ▶ 歩道が狭い
- ▶ ブロック塀が危険
- ▶ スーパー等、車いすで買い物がしづらい（高さ・広さ）

<いまの越谷について感じること(フリーディスカッション)>

緑地保全

- ▶ 緑がもっと増えてほしい

公共交通

- ▶ 東西の移動がしづらい
- ▶ 総合体育館がアルファーズの本拠地となっているが、利便性が悪く、ファンを増やすには課題と感じる

その他

- ▶ 南越谷サンシティを整備してほしい
- ▶ 若い世代が地元を大切にしているのは魅力であり、越谷への愛を感じる
- ▶ このような場に大学生等が参加し、地域に貢献している姿が嬉しい



2 越谷の「未来」を考えよう

未来に向けて重視したいことは？

- ▶ **水害対策と豊かな自然景観の両立**
 - ・住みやすいまちであり続けるために、洪水、大雨対策をおこなうとともに、自然景観を維持する
- ▶ **公園等の整備**
 - ・人々の交流の場となる公園が少ない
- ▶ **公共交通の整備**
 - ・アルファーズの応援に行くためにも、総合体育館へのアクセスを良くしてほしい
 - ・旧日光街道の整備が必要



創りたい未来の越谷のために自分たちでできること・必要な取り組みは？

描く未来の 越谷

住んでからもっと良さを知れるまち

必要な取り組み (具体的な意見)

- 地域通貨等を活用したイベントを開催（市を知る）
- 治水機能を備えた公園をつくる（公園整備・災害対策）
- 防災意識向上・市民交流に繋がる防災イベントを開催する
- アルファーズ新本拠地と新たな総合公園を駅近にする
- 古民家リノベーションで越谷の店を増やす
- 各地区の取り組みPRを広報で大々的に取り組む

3 まとめ

グループ 1

都市と自然が調和した 集約と連携によるまちづくり

2024年 8月 21日

第2回市民懇談会を開催しました



グループ② テーマ：都市と自然が調和した集約と連携によるまちづくり

1 越谷の「いま」を考えよう

いまの越谷の特徴は？(強み・弱み)

<まちの状態についてYes/Noと主な理由>

①くらしやすさ

買い物、通学や通院など
日常生活に便利なまちだと思う

9-1 YES

- ▶ 都内へのアクセスがよい
- ▶ 高齢者など、車がない人には不便なところもある

①くらしやすさ

地震や大雨などの災害に備えた訓練や
備蓄をしている人が多いと思う

10-2 YES

- ▶ 自治会ごとの備蓄倉庫などが増えてきた

⑤地域資源の豊かさ

にぎわいや活気があるまちだと思う

12-1 NO

- ▶ 年代の分断、エリア差がある
- ▶ 静かな景観なので、エネルギーギッシュな景観になってほしい

①くらしやすさ

バリアフリーの観点から
使いやすい施設が整っていると思う

9-2 YES

- ▶ 公共施設はバリアフリーが進んでいるところが増えている

①くらしやすさ

高齢者や障がい者にとっても
暮らしやすいまちだと思う

9-3 NO

- ▶ 公共交通、特にバスに地域差がある
- ▶ 交流する場がなく孤独を感じる人がいる

⑤地域資源の豊かさ

優れたまちなみや景観、自然環境に
恵まれているまちだと思う

14-1 NO

- ▶ 昔からの景観に見直しが必要

<いまの越谷について感じる事(フリーディスカッション)>

公園整備

- ▶ 近所に犬の散歩が出来る公園が少ない
- ▶ 犬の散歩やベンチでの井戸端会議が出来ないため、地域住民間のコミュニケーションが希薄になっている
- ▶ トイレの整備が必要な公園がある

市街地整備

- ▶ 川沿いなどに日陰のあるベンチを作ってほしい

その他

- ▶ 老人福祉センターは高齢者に限定するのではなく、世代を超えて交流できる場・名称にしてほしい



2 越谷の「未来」を考えよう

未来に向けて重視したいことは？

- ▶ **公園の整備**
 - ・犬の散歩などを通じて、交流が生まれる場がほしい
- ▶ **既存施設の多様化**
 - ・時代の変化に応じて、活用方法をデザインできると良い
- ▶ **世代を超えた地域コミュニケーション**
 - ・目的に応じて多様な世代が交流し、市民自らが気づき合い、課題解決できる状態になると良い



創りたい未来の越谷のために自分たちでできること・必要な取組みは？

描く未来の
越谷

自由な交流が育つまち

必要な取組み
(具体的な意見)

- 既存施設を自由に活用できる仕組みづくり・規制緩和（地区センターの多目的化、公園のスポーツ利用等）
- まちなかに木陰やベンチを設置し、井戸端会議や交流ができる場を増やす
- 公園にドッグランやスケートボード場、カフェスタンド等を設け、世代を超えた地域コミュニティができるようにする

3 まとめ

グループ 2

都市と自然が調和した
集約と連携によるまちづくり

2024年 8月 21日
第2回 市民懇談会を開催しました



グループ③ テーマ：持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり

1 越谷の「いま」を考えよう

いまの越谷の特徴は？(強み・弱み)

<まちの状態についてYes/Noと主な理由>

①くらしやすさ

地域の防犯、防災、交通安全活動などに取組んでいる人が多いと思う

10-1 YES

- ▶ 自治会を中心に、多くの人が関与している

①くらしやすさ

災害時に近隣の人たちと助け合う関係があると思う

10-3 YES

- ▶ 高齢者が多く、声の掛け合いがある
- ▶ 地域の防災訓練が、自治会等で実施されている

⑤地域資源の豊かさ

住んでいる地域は、再生可能エネルギーを利用する取組に積極的だと思う

14-4 NO

- ▶ 太陽光の設置を検討したが、ビルが多く陽が当たらない
- ▶ 市内全体では、利用者が少ない

①くらしやすさ

地震や大雨などの災害に備えた訓練や備蓄をしている人が多いと思う

10-2 YES

- ▶ 個人で備蓄している人が増えていると感じる

①くらしやすさ

緊急時に必要な情報(防災・安全など)をすぐ入手できる環境が整っていると思う

10-6 NO

- ▶ 広域の防災訓練が、年に1回程度しかない

⑤地域資源の豊かさ

節電、リサイクル、ごみ減量など、環境に配慮した生活をしている人が多いと思う

14-5 NO

- ▶ 間違ったごみ出しをしている人が多い

<いまの越谷について感じる事(フリーディスカッション)>

温暖化防止

- ▶ 他市の事例を参考に、駅周辺などで暑さ対策を実施するとよいのではないか

災害対策

- ▶ 越谷の防災無線は、地区ごとに情報発信や、cityメールとの連動など、充実している
- ▶ 豪雨で3,000棟以上被害にあうなど、水害に弱い
- ▶ 防災無線は、聞き取りづらいときがあるので、屋内でも受信できる防災ラジオもさらに活用すべき
- ▶ 広報紙等で、しっかり周知ができるとよい



2 越谷の「未来」を考えよう

未来に向けて重視したいことは？

- ▶ 地域の災害対策を強化すること
 - ・治水対策がしっかりされ、水害が起きないまち
- ▶ 適切な情報を適切な地域に届けること
 - ・災害時の情報がその地域や人に、適切に伝わるのが重要



創りたい未来の越谷のために自分たちでできること・必要な取組みは？

描く未来の
越谷

人材を活かし、いろいろな工夫をして
水害対策ができている越谷

必要な取組み
(具体的な意見)

- 田んぼダムなどのハード対策
- 他自治体のように地下貯水空間をつくる
- 補助金等を活用して、必要な世帯に防災ラジオを整備する
- 今まで以上に住民間で声かけ、協力しあい災害対策をする

3 まとめ

グループ 3

持続可能で災害に強い
安全・安心なまちづくり

2024年 8月 21日
第2回市民懇談会を開催しました



グループ④ テーマ：持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり

1 越谷の「いま」を考えよう

いまの越谷の特徴は？(強み・弱み)

<まちの状態についてYes/Noと主な理由>

①くらしやすさ

地域の防犯、防災、交通安全活動などに取組んでいる人が多いと思う

10-1 YES



- ▶ 交通安全活動が活発で、まち全体で小学生の通学を見守っている

①くらしやすさ

緊急時に必要な情報(防災・安全など)をすぐ入手できる環境が整っていると思う

10-6 YES



- ▶ 防災無線の設備は整っているが、雨の日は聞こえにくい

①くらしやすさ

地震や大雨などの災害に備えた訓練や備蓄をしている人が多いと思う

10-2 NO



- ▶ 家族で災害の話題が出ない
- ▶ 防災袋はあるが、どんな物を入れたら良いかわからない

①くらしやすさ

生活環境(水・空気・土壌・騒音)について安全で快適だと思う

10-5 YES



- ▶ 比較的静かで快適だと思う
- ▶ 騒音もなく、小鳥も多く、環境は良い

⑤地域資源の豊かさ

節電、リサイクル、ごみ減量など、環境に配慮した生活をしている人が多いと思う

14-5 YES



- ▶ 自治会や市でゴミを回収できている
- ▶ きちんと分別しており、資源回収ができている

①くらしやすさ

災害時に近隣の人たちと助け合う関係があると思う

10-3 NO



- ▶ 災害時のシステムはあるが、認知度が低い
- ▶ 必要な情報を市が伝えられていない印象がある

<いまの越谷について感じる事(フリーディスカッション)>

消防・救急

- ▶ 救急隊員が足りておらず、休まずに稼働しているのではないか
- ▶ 何かあるとすぐに救急車を呼んでいる(適正利用に課題)

資源循環

- ▶ 昔からの家は、太陽光パネルを付けていない
- ▶ 補助金の存在を知らない人が多いので、もっと市民が情報を入手できるような仕組みが必要



2 越谷の「未来」を考えよう

未来に向けて重視したいことは？

- ▶ 消防隊員が逼迫しないまち
 - ・必要な時に救急車を利用できるとともに、消防隊員が逼迫しない仕組みづくりが重要
- ▶ 再生可能エネルギーを活用できるまち
 - ・市民が補助金の情報を適切にキャッチし、活用できる状態にする
- ▶ 環境に配慮したまち
 - ・市全体でゴミの分別をもっと心がける必要がある



創りたい未来の越谷のために自分たちでできること・必要な取組みは？

描く未来の
越谷

ゼロエネルギーアリーナがサンシティにあるまち

必要な取組み
(具体的な意見)

- アリーナを作り、様々な世代が交流できる場を創出
- アルファーズがアイコンになり、環境の取り組みを発信する
- アリーナへの太陽光パネルの設置や、適切なゴミの分別等、環境への取組みを積極的に行う

3 まとめ

グループ4

持続可能で災害に強い
安全・安心なまちづくり

2024年 8月 21日

第2回市民懇談会を開催しました



グループ⑤ テーマ：持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり

1 越谷の「いま」を考えよう

いまの越谷の特徴は？(強み・弱み)

<まちの状態についてYes/Noと主な理由>

①くらしやすさ

地域の防犯、防災、交通安全活動などに取組んでいる人が多いと思う

10-1 YES



- ▶ 自治会が防犯パトロールを行っている
- ▶ 防災・防犯等に取り組めている

②くらしやすさ

地震や大雨などの災害に備えた訓練や備蓄をしている人が多いと思う

10-2 NO



- ▶ 自治会での備蓄が足りない
- ▶ 避難場所が足りない

③くらしやすさ

災害時に近隣の人たちと助け合う関係があると思う

10-3 NO



- ▶ 自治会の繋がりが十分ではない
- ▶ 住民同士の助け合いが難しい

④くらしやすさ

生活環境（水・空気・土壌・騒音）について安全で快適だと思う

10-5 YES



- ▶ 工場が少ないので、騒音も少ない
- ▶ 水が十分に確保できている

⑤くらしやすさ

緊急時に必要な情報（防災・安全など）をすぐ入手できる環境が整っていると思う

10-6 NO



- ▶ 防災無線が聞こえない
- ▶ 水害対策が遅れている

⑥地域資源の豊かさ

住んでいる地域は、再生可能エネルギーを利用する取組みに積極的だと思う

14-4 NO



- ▶ 太陽光パネル設置の推進ができていない
- ▶ リサイクルはやっているが、電力に係る取組みはわからない

<いまの越谷について感じる事(フリーディスカッション)>

消防・救急

- ▶ 消防団員が不足しているため、学生団員の募集や退職された方等を活用するのが良いのではないかな

災害対策

- ▶ 補償とセットで、水田の活用を検討すべき
- ▶ 洪水避難タワー等を設置した方が良い
- ▶ 埼玉県防災アプリの利用促進が重要
- ▶ 防災無線が聞こえやすくなるような対策が必要



2 越谷の「未来」を考えよう

未来に向けて重視したいことは？

▶水害対策

- ・水害に強い越谷を目指すための環境整備と地域住民が助け合える仕組み作り

▶消防団員の確保

- ・消防団員確保に向けた老若男女に対する取組み

▶生活環境の維持

- ・住民が安心して暮らせるまちづくり



創りたい未来の越谷のために自分たちでできること・必要な取組みは？

描く未来の
越谷

犠牲者が一人も出ないまち

必要な取組み
(具体的な意見)

- 排水路建設や水田活用により、水害対策を行う
- 災害時に活躍できる人材を増やすために、大学生に越谷に住んでもらう仕組みを検討する
- 防災のため、アプリを活用する
- 自治会を強化し、災害時に声かけが出来る体制を作る

3 まとめ

グループ5

持続可能で災害に強い
安全・安心なまちづくり

2024年 8月 21日
第2回 市民懇談会を開催しました



グループ⑥ テーマ：持続可能で災害に強い安全・安心なまちづくり

1 越谷の「いま」を考えよう

いまの越谷の特徴は？(強み・弱み)

<まちの状態についてYes/Noと主な理由>

⑩くらしやすさ

地域の防犯、防災、交通安全活動などに取組んでいる人が多いと思う

10-1 NO



- ▶ 共同住宅が多いため、自治会が機能せず、地域の繋がりが薄い

⑩くらしやすさ

災害時に近隣の人たちと助け合う関係があると思う

10-3 NO



- ▶ 助け合いの精神が希薄
- ▶ 災害に関する情報が少ない
- ▶ 災害時のボランティアが少ない

⑩くらしやすさ

緊急時に必要な情報(防災・安全など)をすぐ入手できる環境が整っていると思う

10-6 NO



- ▶ 職場での情報入手が難しい
- ▶ 集合住宅では防災無線が聞き取りづらい

⑩くらしやすさ

地震や大雨などの災害に備えた訓練や備蓄をしている人が多いと思う

10-2 NO



- ▶ 消費期限による買替えまではできていない
- ▶ 自治会の加入率が低い

⑩くらしやすさ

生活環境(水・空気・土壌・騒音)について安全で快適だと思う

10-5 NO



- ▶ 駅周辺は深夜でも騒音がある
- ▶ 市内の河川の汚れが気になる

⑤地域資源の豊かさ

節電、リサイクル、ごみ減量など、環境に配慮した生活をしている人が多いと思う

14-5 NO



- ▶ ごみの分別ができていない
- ▶ リサイクルに対する意識が希薄

<いまの越谷について感じる事(フリーディスカッション)>

資源循環

- ▶ 太陽光、風力、バイオマス等の利用に積極的とはいえない
- ▶ リユース等の施設があり資源の再利用はできている

災害対策

- ▶ 住民同士の関係が希薄のため、災害時に連携ができないのではないか
- ▶ 地盤が弱く、不安がある
- ▶ 水害などの災害が多い

地域防犯

- ▶ 騒音をはじめとした治安の悪化が心配

その他

- ▶ 駅周辺に鳩の糞が多いことや市内の河川の汚れが気になる
- ▶ 総体的に生活環境はよいのではないかと感じる



2 越谷の「未来」を考えよう

未来に向けて重視したいことは？

- ▶ **地盤を強化し、水害に強いまち**
 - ・水害が多い地区の地盤の改善と治水が必要
- ▶ **地域の団体どうしが連携したまち**
 - ・災害時に集合住宅の住民や職場の人で助け合う
- ▶ **持続可能で安全・安心なまち**
 - ・治安がよく、災害に強く、持続可能なまちづくりが必要



創りたい未来の越谷のために自分たちでできること・必要な取組みは？

描く未来の
越谷

ストレスのないまち、越谷

必要な取組み
(具体的な意見)

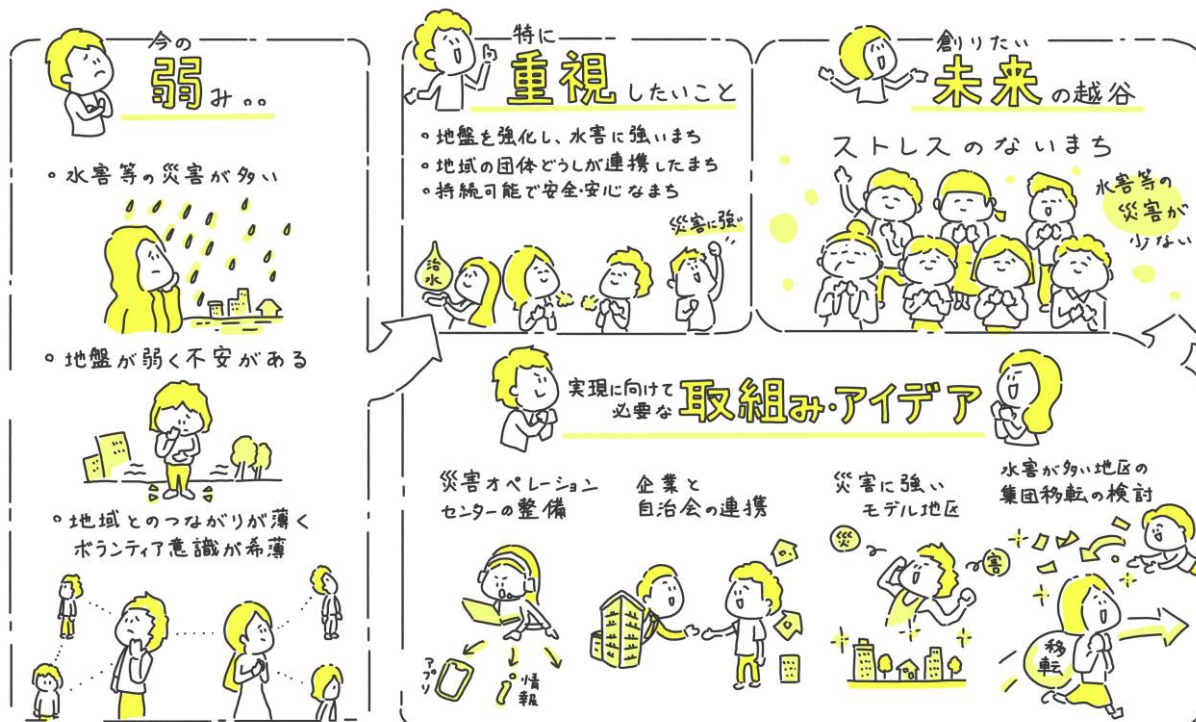
- 災害オペレーションセンターの整備
- 災害に強いモデル地区を作る(第二のレイクタウン)
- 水害が多い地区の集団移転の検討
- 高台や共同住宅への引越しの補助
- 企業と自治会の連携強化

3 まとめ

グループ6

持続可能で災害に強い
安全・安心なまちづくり

2024年 8月 21日
第2回 市民懇談会を開催しました



総 評

第1回に引き続き、高崎経済大学の長野准教授にお越しいただき、総評をいただきました。

『各グループに共通して“安心”という言葉が出ていましたが、安心という概念は個人によって異なり、そして、それは数値化しにくいものです。

今回のテーマである“都市計画と防災”の観点では、再生可能エネルギーの地産地消や、災害予防と減災に向けた日常生活での準備など、具体的な取り組みが市民の皆さんの安心感に繋がります。

皆さんが日頃の体験で感じる課題に基づく物語を作り、今回のような話し合いの場で共有することで、新たな視点やアイデアが生まれます。

今日を機に、安心の定義について、改めて考えてみてください。』



参加者アンケート

懇談会に参加して感じたことなどを、自由に記入いただきました。

今回も、テーマに関する活発な意見交換を通じて、「市民どうして新たな気づきを得られた」と多くの方々に満足いただけた様子でした。また、「もっと話し合いたかった」、「これからも関わりたい」といったご意見をいただきました。

越谷に関する新しい気づきがあった

- 様々な意見が聞けて、知らないこともあり勉強になりました
- 自分の考えていることが全て出せたと、他の人からの意見で新しい気づきもあった
- 特徴のない市だと思っていたが、色々な魅力を再認識できた
- 公園や公共施設のフレキシブルな使い方によって、自由なコミュニティが育つ未来を想像できた
- 防災への意識が地区によって違ったり、いろんな方の目線で見る越谷が知れた

その他

- 満足したが、ディスカッションの時間が少ないと感じた
- ディスカッションがしやすく(カード/パネル/ファシリテーターの方々)、多くの意見を聞くことができ、有意義だったので、これからも関わりたい
- 市を変えていくエネルギーを感じた
- 熱気のあるディスカッションが行われたと思います、感謝!!

参加者どうしの様々な意見交換・交流が有意義だった

- 様々な人が考えていること、取り組んでいることの話が聞けて参考になった
- グループのディスカッションが大変充実していた。メンバーに恵まれ、特に若い世代の意見などが聞けてよかった
- 越谷市民として自分の住むまちのことを色々考えられてよかった。いろんな人と会えてよかった
- 私たちは地区センターや自治会の活動をとおして越谷を見ていたように思う。純粋に越谷を見て、愛してくれている人たちがたくさんいて嬉しく思えた



懇談会の様子

イントロダクション



ディスカッション



グループ発表



発行:越谷市 総合政策部 政策課

TEL :048-963-9112

FAX :048-965-6433

E-mail:seisaku@city.koshigaya.lg.jp